

株主メモ

事業年度	9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
期末配当金受領株主確定日	8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により、当社ウェブサイト (http://www.mcsg.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。

IRサイト <http://www.mcsg.co.jp/ir/index.html>

Business Report 2012

2012年10月に開業したアンサンブル大宮日進

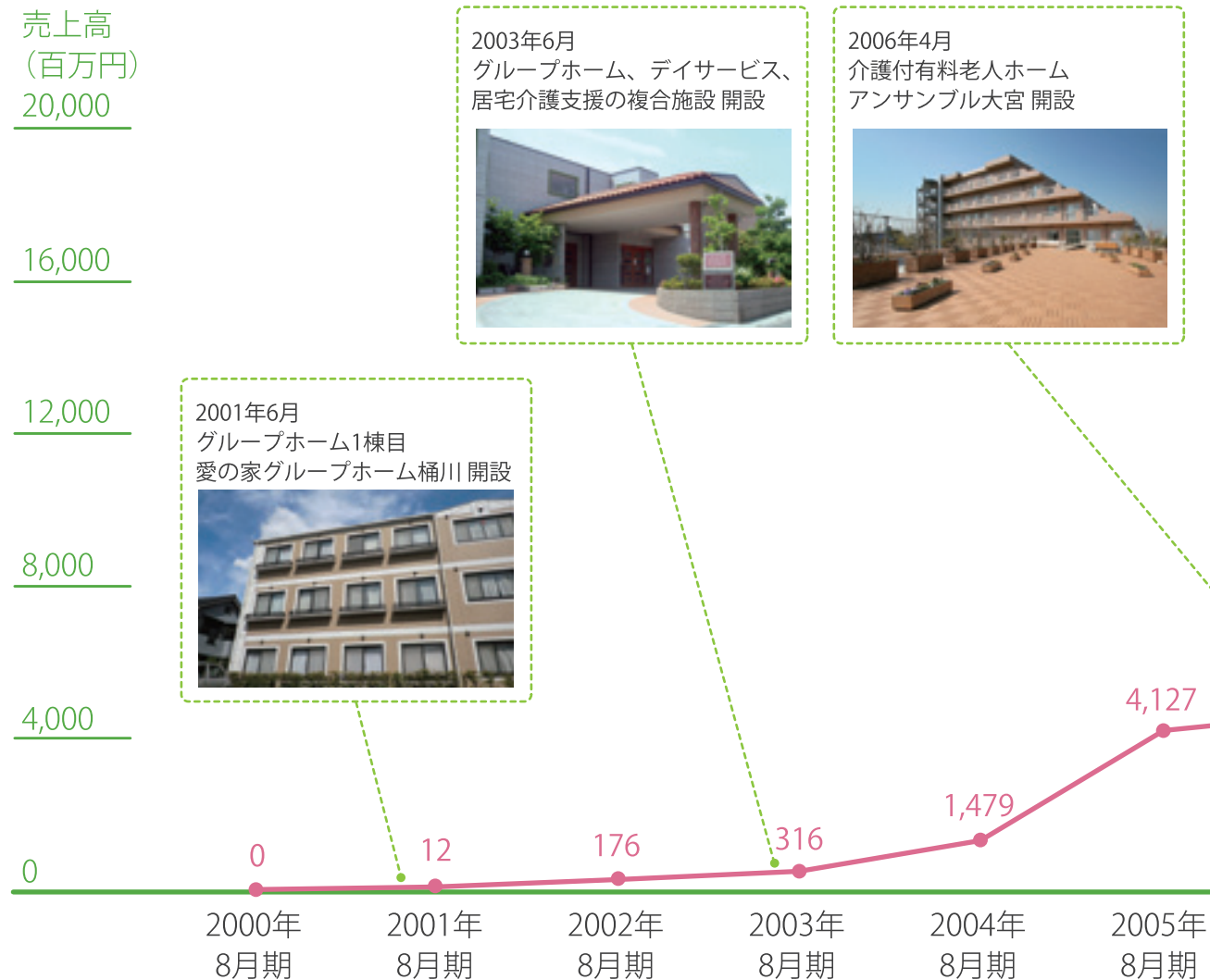


Medical Care Service



MCS イメージキャラクター
マイちゃん

創業来の歩み





2006年
8月期

2007年
8月期

2008年
8月期

2009年
8月期

2010年
8月期

2011年
8月期

2012年
8月期

名実ともに日本をリードする介護事業者へ

代表取締役会長兼社長 高橋 誠一

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より当社に対しまして、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2012年8月期(2011年9月1日～2012年8月31日)における介護業界では、2012年4月に介護保険法が改正され、地域包括ケアシステムの実現をテーマとした在宅介護サービスの充実化が図られました。同時に改定された介護報酬は、実質0.8%のマイナス改定となり、介護保険財政への影響を考慮した結果となっております。また、先日、厚生労働省から発表された認知症高齢者数の2012年現在の推計値は、300万人を超えており、2025年には470万人に上るとされております。



このような背景のもと、当社グループは、上場来最多となるグループホーム30棟の純増を達成いたしました。また、グループホームと小規模多機能型居宅介護の複合施設事業も開始することで、在宅介護サービスへの進出の足がかりとしました。さらに、認知症介護の情報ポータルサイト『認知症きらきらネット』を開設し、認知症分野のリーディングカンパニーとして広く社会に対して認知症介護の理解と知識の普及に努める事業を開始いたしました。

今後は引き続き、認知症介護事業を主軸として年間15～20棟以上のグループホーム開設を図るとともに、在宅・周辺事業をはじめとする新規事業を構築することで、事業基盤を強化するとともに、新たな事業モデルを構築してまいります。そして、当社の一連の介護サービスモデルを、中国をはじめとするアジアに向けて、輸出することで、長期的にはグローバルな展開を目指してまいります。

2012年8月期 決算概況

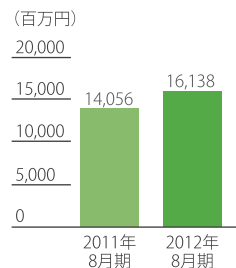
当期におけるわが国の経済は、東日本の復興需要により企業の設備投資や消費動向に復調の兆しが見え始めているものの、電力供給問題や原油価格高騰に加え、欧州債務危機による金融不安や慢性的なデフレ経済、円高の影響等により依然として厳しい状況にあります。

介護業界においては、2012年4月に介護保険制度が改正され、在宅サービスの充実が図られる一方、同時に改定された介護報酬は実質マイナス改定となり、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を主軸とする当社グループ（当社及び連結子会社）は、介護保険からの収入が削減される結果となりました。

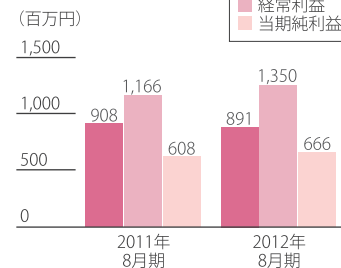
このような状況のもと、当社グループは、一層の効率的な経営に努め、グループホームを新規に23棟開設したほか、M&Aや営業権譲受により8棟のグループホームを獲得しました。その結果、2事業所の統合を含めて、グループホーム数は上場来最多となる30棟の純増となり、177棟を運営する規模にまで成長しました。また、施設数の増加に加え、開設5ヶ月以上のグループホームの入居率が97%を超える高水準を維持した結果、売上高は前連結会計年度比14.8%増の16,138,264千円で着地しました。

営業利益については、採用費用の増加、東京オフィス開設に伴う家賃増加、補助金制度活用によるスタッフ雇用等により、前連結会計年度比1.9%減の891,007千円となりました。しかし、補助金制度の活用により、コストとして計上されている人件費等が補助金収入（466百万円・前期比187万円増加）として営業外収益に計上されることで、経常利益は前連結会計年度比15.7%増の1,350,330千円、当期純利益は9.5%増の666,301千円となり、ともに過去最高益を更新しました。

●売上高



●利益



(百万円)	2011年8月期		2012年8月期		増減額	前年同期比
	金額	売上対比	金額	売上対比		
売上高	14,056	100.0%	16,138	100.0%	2,081	14.8%
営業利益	908	6.5%	891	5.5%	-17	-1.9%
経常利益	1,166	8.3%	1,350	8.4%	183	15.7%
当期純利益	608	4.3%	666	4.1%	57	9.5%



2012年8月期 事業概況① (グループホーム・介護付有料老人ホーム)

■グループホーム事業

当期は、開発拠点を全国に配置することで、全国に亘る開発対応をよりスピーディーに行う体制を構築しました。その結果、上場来最多となる年間23棟の新規開設を行いました。加えて、M&Aを強化した結果、8棟のグループホームを獲得しました。なお、グループホームキノシタ有限会社の株式取得により、当社として初の三重県における介護事業所運営を開始することになり、全国25都道府県に177棟のグループホームを運営する規模にまで成長しました。

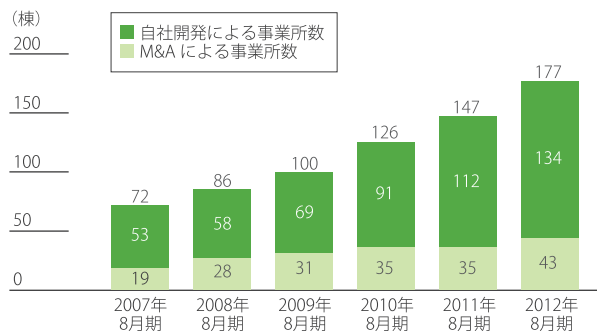
今後も既存施設とのシナジーが図れるエリアを中心に開発を進めます。特に、首都圏をはじめとした需給ギャップの大きい都心部を中心に展開を進めます。さらに、後継者不在、本業回帰等で事業継続が困難な既設のグループホームを友好的に継承する等、既存事業の買収・営業譲受にも注力してまいります。

■介護付有料老人ホーム事業

当期は、グループホームキノシタ有限会社の株式取得により、介護付有料老人ホーム1棟、住宅型有料老人ホーム1棟を獲得しました。その結果、介護付有料老人ホームは5棟体制となり、グループホームに次ぐ第2の収益事業としての基盤強化を進めております。

今後は、グループホーム密集エリアを中心に、M&Aを含め年間1～2棟の安定拡大を図ってまいります。また、大型有料老人ホームの運営ノウハウを確立することで、中国市場における介護サービス展開への反映、事業モデルの輸出につなげます。

●グループホーム棟数の推移



過去最多の
増設数

自社開発 23 棟増 (小規模併設型 3 棟増)
M&A 8 棟増 (虹の郷 1 棟+キノシタ 7 棟)
※GH 西尾久・荒川の統合により 1 棟減



愛の家グループホーム 印西木下



愛の家グループホーム 秦野鶴巻



アンサンブル大宮



2012年8月期 事業概況② (小規模多機能・福祉用具)

■小規模多機能型居宅介護事業

2011年11月に、愛の家グループホーム練馬西大泉において、小規模多機能型居宅介護を併設する事業を開始しました。当社としては、今後需要の高まる在宅向け介護サービスとして位置づけるとともに、重度化した場合にはスムーズにグループホームへの入居移行が図れるよう、既存事業とのシナジー効果を一層図ってまいります。

当期においては、3カ所の小規模多機能型居宅介護をグループホームに併設して開設しました。今後も、行政ニーズの高まっているグループホームとの併設モデルをひとつの事業として確立するとともに、年間3カ所程度のペースで開設を進めてまいります。

■福祉用具事業

当社グループの株式会社ケアスターは、主に社内事業所の利用者を対象に福祉用具の販売・レンタルを行っています。2012年2月には、認知症介護の情報ポータルサイト『認知症きらきらネット』の開設とともに、福祉用具のインターネット販売を開始しました。今後は社外に向けての販売にも力を入れてまいります。

当社としては、収益基盤の強化として重要な介護報酬に依存しない事業と位置づけており、今後もインターネット販売を強化するほか、OEM供給によるプライベートブランドの商品開発、販売にも注力することで、さらなる事業の拡大に注力してまいります。



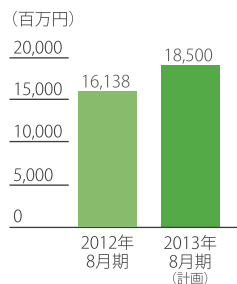
グループホームと小規模多機能型居宅介護を併設した複合施設「愛の家 練馬西大泉」



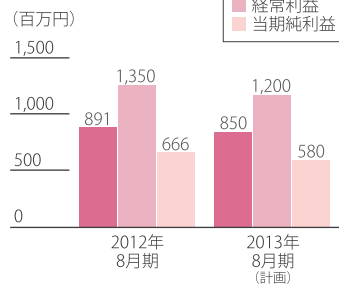
『認知症きらきらネット』内で販売している福祉用具

2013年8月期 業績予想

●売上高



●利益



(百万円)	2012年8月期		2013年8月期(計画)		増減額	前年同期比
	金額	売上対比	金額	売上対比		
売上高	16,138	100.0%	18,500	100.0%	2,362	14.6%
営業利益	891	5.5%	850	4.6%	-41	-4.6%
経常利益	1,350	8.4%	1,200	6.5%	-150	-11.1%
当期純利益	666	4.1%	580	3.1%	-86	-13.0%

●事業所の開設計画

	2012年 8月期	2013年 8月期(計画)	純増数
グループホーム	177	200	23
介護付有料老人ホーム	5	7	2
住宅型有料老人ホーム	1	1	0
小規模多機能型居宅介護	3	6	3
デイサービス	1	1	0
居宅介護支援センター	2	2	0
軽費老人ホーム	1	1	0
合計	190	218	28

次期における当社グループの事業展開においては、引き続き主幹事業であるグループホーム事業を積極的に展開し、年間20棟以上の新規開設を目指します。また、介護付有料老人ホーム事業においては、10月にさいたま市北区日進町で150床の大型施設「アンサンブル大宮日進」を開設いたしました。これまでに培った事業基盤を活かし、早期の収益安定化を図り、効率的な運営管理を実現してまいります。

また、全国単位で後継者不在、本業回帰等で事業の継続が困難な既設のグループホーム事業を友好的に継承する等、既存事業の買収・営業譲受による拠点拡大にも引き続き注力してまいります。

インターネットやソーシャルメディアを通じての営業促進にも注力し、ウェブサイトのパフォーマンス向上に加え、グループホームや介護付有料老人ホームの入居案内に特化した専用サイトの充実に取り組んでまいります。また、『認知症きらきらネット』においては、さらなるコンテンツの充実を図り、福祉用具のインターネット販売の強化にも取り組んでまいります。

既存事業との関連性や親和性の高い周辺事業を中心に、介護保険外サービスによる新規事業を企画する等、介護報酬によらない収益チャネルを構築することで、より一層安定した収益構造の実現にも取り組んでまいります。



介護付有料老人ホーム「アンサンブル大宮日進」

2013年8月期 重点施策

「誰もが当たり前のように安心して暮らせる高齢社会」の実現

名実ともに「認知症分野のリーディングカンパニー」の実現

*** 事業基盤の強化 ***

持続発展可能な収益基盤の構築

- ❁ 既存事業とシナジー効果の図れる在宅サービスの模索
- ❁ 介護保険に依存しない新たな事業モデルの構築
- ❁ 中国へ展開する事業モデルの再構築
- ❁ 有料老人ホームの計画的展開

知名度・認知度を高めるためのブランディング

- ❁ CI・VIのブランドコード整理
- ❁ 広報・IR、リクルート、入居促進等のあらゆる場面における社内情報(財産)を発信
- ❁ WEB媒体力・発信力を強化

*** 経営基盤の強化 ***

効率的且つ合理的な経営システムの構築

- ① 全部門の職務分掌見直しによる業務効率化
- ② スピーディーな意思決定、部門完結型の権限体系の確立
- ③ 人事データベースの整備

高品質な介護サービスを支える人材基盤の構築

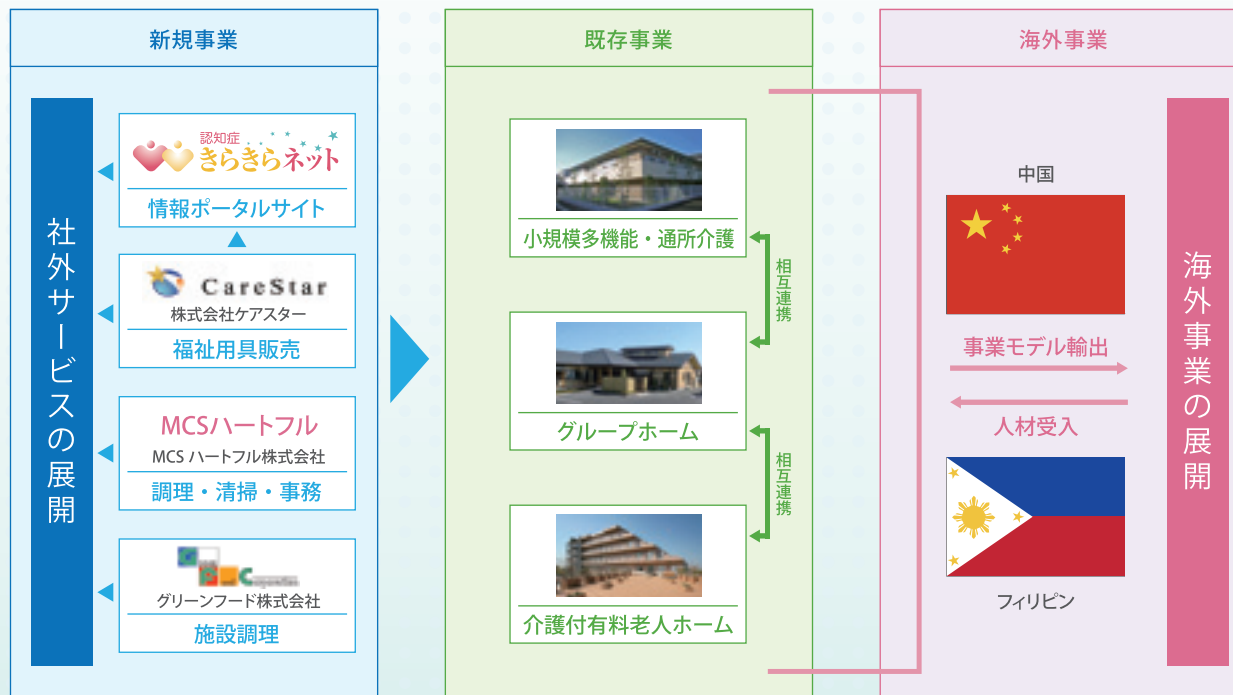
- ① ホーム長や要職者に対する社内教育プログラムの見直し
- ② 新卒社員の早期幹部育成
- ③ 全国各エリアに採用担当・教育担当の配置

従業員・顧客満足度を高める社内制度・文化の構築

- ① 経営幹部を中心とした従業員のための環境づくり
- ② 人事制度の見直しと構築
- ③ 社員交流、施設間交流の充実

Information 1

各事業の関連性について



●株式会社ケアスター

車椅子・歩行器・ベッド等、福祉用具機器の販売・レンタルを行っています。MCSの介護施設運営から得られた豊富な知識や経験をもとに、ご家族様・ご利用者様にあった福祉用具のご提案をしています。



●MCSハートフル株式会社 (特例子会社)[※]

MCSが運営するグループホームや介護付有料老人ホームでの事務作業や清掃作業等を請け負い、現場運営をサポートしています。障がい者の雇用を積極推進し、就業による社会進出を支援しています。



[※] 障がい者雇用に特別な配慮をし、一定の条件を満たし、厚生労働大臣より認可を受けた会社

●グリーンフード株式会社

MCSが運営するグループホームや介護付有料老人ホームの食事において、栄養学的見地から献立を作成したり、必要とされる食材を届けたり、現場に入って調理や技術指導等を行っています。



Information 2

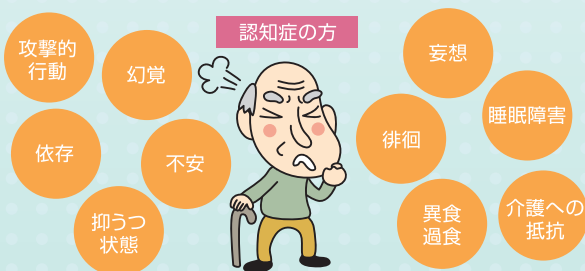
認知症とは？グループホームとは？

認知症とは、「いったん正常に発達した知能(脳)に何らかの原因で記憶・判断力等の障害が起き、日常生活がうまく行えなくなるような病的状態」をいい、2012年時点で全国に300万人を超える認知症高齢者がいると推計されています。症状としては、「中核症状」と「周辺症状」に分けられ、「中核症状」は記憶障害や行動機能障害等必ず見られる症状で、認知症と判断したり重症度を判定する目安となります。「周辺症状」には個人差があり、徘徊や妄想、異食等周囲の接し方によっては改善することができるものです。

現在の医学では認知症を治すことはできませんが、周囲の人が認知症を正しく理解し、適切に接することにより、その進行を遅らせることはできます。しかしながら、わが国の世帯構造は高齢化が進み、在宅での24時間365日の認知症介護はますます困難を極めている状況にあります。

●介護する側の負担が大きい

認知症を患っている方をケアすることは、通常の高齢者をケアすることに比べ、その負担の大きさは計り知れません。もちろん症状によっても異なりますが、暴言や徘徊、幻覚や過食等と真摯に向き合い、自信を失わせないように心と身体でケアしていくことが求められます。介護に疲れて「うつ病」になったり、傷つけてしまったり等、認知症介護に関わる人たちがきちんとケアしていくことも忘れてはいけません。

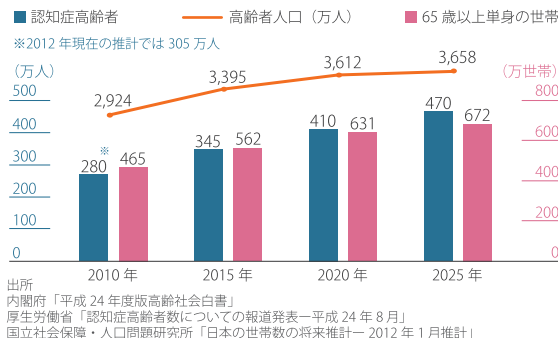


グループホームとは、認知症の方が小規模な生活の場で少人数(5~9人)を単位とした共同住居で、認知症ケア専門の介護スタッフとともに生活しています。大人数をひとまとめに管理する介護施設とは全く異なり、食事の支度や掃除、洗濯等、過去に体験したことのある役割を与えることで、潜在的な残存能力を最大限に活用できる環境を提供しています。そして、少人数の中で「家庭的な関係」「馴染みの関係」をつくり上げ、心身の状態を穏やかに保っています。グループホームのケアは、認知症の方が混乱しないで普通の生活を送ることができるようにすることを何よりも優先します。まさにグループホームは、認知症高齢者が安心して暮らすことのできる第二の「わが家」なのです。

●グループホームが足りない

ところが、わが国のグループホームは、明らかに不足しています。約300万人の認知症高齢者に対して、グループホームで適切なケアを受けられている利用者はわずか約17万人(5.6%)しかいません。さらに、2025年には認知症高齢者の数は470万人に上り、約37万人分の施設が必要とされています。これは切実な社会問題です。

認知症高齢者と高齢化社会の環境の推移



Visionary Report 1 全国事例研究発表会

明日の介護につながる 事例研究の成果。

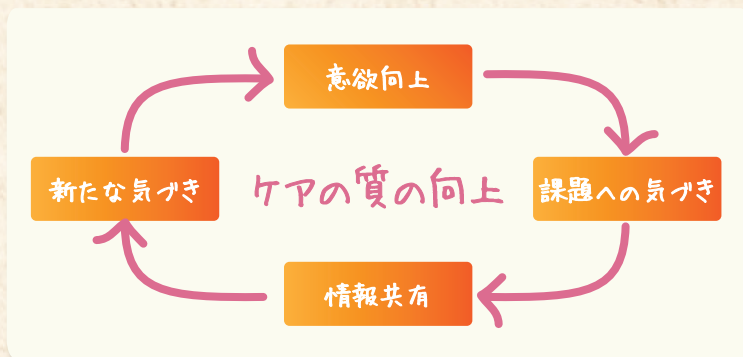
一人ひとりと真剣に向き合うことで生まれた知恵と経験。

大切なことはチャレンジをすること。
そして、知恵と経験を多くの人に届けること。

全国ケア事例研究の情報共有！「事例発表全国大会」

MCSでは全国のユニット(または事業所)での日々の取り組みについて発表する舞台を用意し、その成果を検証・共有する仕組みを構築しています。

2012年の第4回大会は、全国すべての事業所から応募があり、32の事例が全国大会にて発表されました。ケアの質の向上に、正解やゴールはありませんが、こうした活動を定期的に繰り返していくことで、MCSの「介護のチカラ」は大きく実を結び始めています。



Visionary Report 2

認知症介護の情報ポータルサイト

MCSでは、認知症に関する膨大な経験則を社内にとどめることなく、認知症や介護の課題に直面した、多くの方へ情報発信をすることや、一般社会に広く理解を求める活動も促進していく必要があると考えています。今後、私たちの培った経験をどのように活用し、どう活動していくことが認知症介護の発展、社会に対する貢献につながるのかは、まだまだ未知数ですが、大切なことは「プロとしての自覚と誇りをもって、行動を起こすこと」だと考えています。



認知症に関する正しい情報で、
不安や悩みを解消！
介護に関わるあらゆる人を
サポートします！



認知症きらきらネット

検索

認知症に関する情報を一元的に発信。
ポータルサイト「認知症きらきらネット」を開設。

<http://kirakira-care.net>

MCSでは、これまで多くの認知症高齢者、ご家族様と向き合ってきましたが、認知症に対する情報量や提供方法は未だ十分とはいえず、正しい理解をもとに、適切な診断や対応を受けられている方はまだまだ限られているという現状を、目のあたりにしてきました。当ポータルサイトでの様々なサービス情報の提供を通じ、認知症高齢者やご家族様を支援する仕組みをつくっていきたくと考えています。



Q. どんな情報が提供されているの？

ご家族様(介護者)の視点にこだわり、有用な情報を配信することを目指し、認知症基礎講座をはじめ、業界識者のインタビュー記事、ニュース、セミナーイベント情報、ご家族様(会員)同士の情報交換コミュニティ等を提供しています。(「公益社団法人認知症の人と家族の会」顧問、三宅貴夫医師監修)
また、介護施設の検索や求人情報や介護用品ストアも併せてご利用いただけます。
認知症介護の情報プラットフォームとして、気軽にご利用いただけます。(会員登録無料)

Contents

-  インタビュー
-  認知症のいろは
-  介護ニュース
-  コミュニティ
-  介護用品ストア
-  施設検索
-  介護のお仕事
-  認知症基礎講座
-  お悩み相談

「認知症きらきらネット」の名称には、ご家族様や介護に関わる人たちが、少しでも不安な気持ちを解消し、新しい可能性に出会い、キラキラと輝く日々を過ごして欲しい、という意味が込められています。

Visionary Report 3

人材・経営基盤の強化

■日系フィリピン人介護士の受け入れ

要介護（要支援）認定者数が540万人を超え、ますます介護需要が増す一方で、日本の生産年齢人口は減少に向かっており、今後、介護人材を確保することがより困難になってくることが予測されます。そこで、当期より現地から日系フィリピン人受け入れを試験的に開始しました。セブ市の医療・看護系大学で日本語と介護の教育を受けた学生を現地で面接し、優秀な人材を当社で受け入れます。更に来日してからも、本人の能力に合わせて2週間～1カ月の研修を行った後、現場での就業を開始します。陽気な気質がご利用者様からも受け入れられ、周囲の雰囲気を明るくする等、介護スタッフとして現場で活躍しております。また、各メディアからも注目されており、今後も計画的に日系フィリピン人を現地から受け入れるほか、日本語の能力向上に向けた教育や、介護資格取得支援にも注力していきます。

■東京オフィスの開設

今後の事業拡大に向けた情報収集機能の向上や優秀な人材を獲得するための戦略的拠点として、2012年2月に開設しました。当オフィスには経営企画部門をメインとして配置し、外部企業やグループ企業との連携を強化しております。また、採用部門においては、全国からの求人募集や説明会等で活用したり、開発部門においては、全国への拠点として、重要な役割を果たしております。



Visionary Report 4

各種イベント

■10周年記念パーティー

2001年6月に愛の家グループホームの第1棟目を開設してから10年が経過したことを記念して、東京都港区台場のホテルにて10周年記念パーティーを開催し、政界、経済界、金融機関をはじめ、多数の方々にご来場いただきました。パーティーでは、オリジナルで作詞・作曲したカンパニーソング「かがやき」を、CDで実際に歌唱しているコーラスグループCircusを特別ゲストとして招待し、数曲を歌唱しました。また、当社イメージキャラクター「メイちゃん」もこの場で正式発表し、その後の販促物等でイメージキャラクターとして使用しています。その他、中国雑技団による演舞等も催され、盛大な記念式典となりました。

■新卒社員の採用・入社

2012年4月には、全国各地から53名の新卒社員が入社しました。入社式終了後は、合宿による研修を受け、全国各地の介護現場や本社部門に配属されました。各配属先では、即戦力として活躍しており、当社を担う将来の幹部候補生として、今後も教育・育成に力を入れてまいります。

また、採用においては、リクルートサイトのリニューアルや、ソーシャルメディアを活用した採用活動等、新たな取り組みやチャネルの活用により、リクルートブランディングの強化に努めました。



連結貸借対照表

単位：千円

2011年8月期 2012年8月期

2011年8月期 2012年8月期

資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,496,502	990,900
売掛金	1,984,609	2,321,947
たな卸資産	27,498	132,816
繰延税金資産	86,442	84,421
その他	223,944	482,574
貸倒引当金	△4,146	△3,505
流動資産合計	3,814,851	4,009,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	125,445	627,433
車輛運搬具	41,781	66,745
土地	25,000	327,270
建設仮勘定	17,600	—
その他	59,638	85,046
有形固定資産合計	269,465	1,106,497
無形固定資産		
のれん	316,671	482,007
リース資産	81,670	53,736
その他	3,480	6,871
無形固定資産合計	401,822	542,614
投資その他の資産		
投資有価証券	4,861	4,509
長期前払費用	4,174	8,962
差入保証金	959,283	1,143,978
その他	89,332	130,617
貸倒引当金	△8,664	△7,730
投資その他の資産合計	1,048,988	1,280,336
固定資産合計	1,720,276	2,929,448
資産合計	5,535,127	6,938,604

負債の部		
流動負債		
買掛金	23,284	26,243
短期借入金	200,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	441,612	520,801
未払金	738,627	954,617
未払法人税等	403,422	442,305
未払費用	100,497	110,660
賞与引当金	60,698	60,077
その他	108,731	119,240
流動負債合計	2,076,872	2,463,946
固定負債		
長期借入金	816,290	1,037,904
リース債務	78,406	43,133
退職給付引当金	119,568	164,565
長期預り金	160,958	169,910
その他	9,762	160,709
固定負債合計	1,184,985	1,576,223
負債合計	3,261,858	4,040,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,100	871,250
資本剰余金	391,100	391,250
利益剰余金	964,629	1,573,658
株主資本合計	2,226,829	2,836,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△227
その他の包括利益累計額合計	—	△227
新株予約権・少数株主持分	46,439	62,504
純資産合計	2,273,268	2,898,435
負債純資産合計	5,535,127	6,938,604

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

	2011年8月期	2012年8月期
現金及び現金同等物の期首残高	833,844	1,496,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,087,473	1,014,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△474,427	△1,291,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,625	△228,843
現金及び現金同等物に係る増減額（△は減少）	662,658	△505,601
現金及び現金同等物の期末残高	1,496,502	990,900

連結株主資本等変動計算書 （第13期／2011年9月1日から2012年8月31日まで）

単位：千円

	株主資本				その他の包括利益累計額 その他有価証券評価差額金	新株予約権・ 少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
2011年8月31日残高	871,100	391,100	964,629	2,226,829	—	46,439	2,273,268
連結会計年度中の変動額							
新株の発行（新株予約権の行使）	150	150		300			300
剰余金の配当			△57,272	△57,272			△57,272
当期純利益			666,301	666,301			666,301
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					△227	16,064	15,837
連結会計年度中の変動額合計	150	150	609,029	609,329	△227	16,064	625,166
2012年8月31日残高	871,250	391,250	1,573,658	2,836,158	△227	62,504	2,898,435

株主還元策

当社は、持続的な利益成長を図るため、企業の体制強化や事業拡大に要する内部留保を確保しながら、業績等を考慮し、中長期的な株主利益を尊重した上で、配当を実施することを基本方針としております。

上記方針に基づき、当期の経営成績等を総合的に勘案した上で、株主の皆様のご支援に応えるため、1株当たりの配当を当初予想のとおり、4,000円の普通配当を実施いたします。尚、次期の配当につきましても、上記方針を基本とし、次期の業績予想を踏まえ、1株当たり4,000円の配当を予定しております。

配当

単位：円

		1株当たり配当
2012年8月期	配当実績	4,000
2013年8月期	配当(予想)	4,000

株式状況

2012年8月31日現在

株式概要

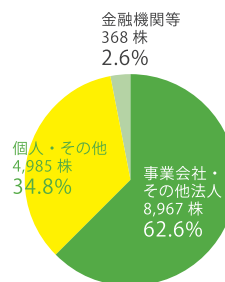
発行可能株式総数	38,400株
発行済株式総数	14,320株
株主数	417名
単元株式数	1株

大株主の状況

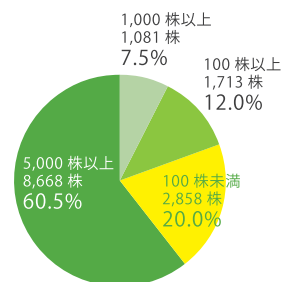
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三光ソフランホールディングス株式会社	8,668	60.5
高橋 誠一	1,081	7.5
丸田 稔	382	2.7
西園 仁	348	2.4
パイン株式会社	200	1.4

株式分布状況

【所有者別】



【所有株数別】



会社概要

会社概要 2012年8月31日現在

会社名	メディカル・ケア・サービス株式会社
設立	1999年11月
資本金	8億7,125万円
株主	三光ソフランホールディングス株式会社(60.5%)他
本社	〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町 1-212-3 TEL. 048-651-6700 / FAX. 048-651-3210
東京オフィス	〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7 KPP八重洲ビル7階 TEL. 03-6228-8101 / FAX. 03-6228-8102

役員一覧 2012年11月30日現在

代表取締役会長兼社長	高橋 誠一	監査役	大熊 章三
取締役副会長	小林 光司	監査役	星野 慎吾
常務取締役	石塚 明	監査役	高岡 光盛
取締役	山本 教雄		
取締役	水口 雄		
執行役員	松田 嘉雄		
執行役員	浅野 雅良		
執行役員	丸山 和雄		

都道府県別事業所数 ～ 全国25都道府県で展開～

2012年8月31日現在

《グループホーム》

- 【北海道】⑩ 札幌市豊平区・南区・清田区・手稲区・根室市・石狩市・帯広市・標津郡中標津町
- 【宮城県】④ 仙台市宮城野区・太白区・泉区・石巻市
- 【福島県】④ 福島市・郡山市
- 【新潟県】⑦ 新潟市・上越市・長岡市
- 【長野県】③ 長野市・伊那市・岡谷市
- 【埼玉県】③③ さいたま市大宮区・北区・南区・西区・中央区・緑区・桜区・岩槻区・八潮市・越谷市・桶川市・上尾市・北本市・春日部市・川口市・新座市・和光市・川越市・久喜市・鴻巣市・狭山市・鶴ヶ島市・児玉郡上里町・南埼玉郡白岡町
- 【東京都】⑫ 世田谷区・練馬区・荒川区・板橋区・葛飾区・足立区・中野区・小平市・八王子市・西東京市・調布市
- 【千葉県】⑭ 千葉市若葉区・稲毛区・船橋市・市川市・松戸市・流山市・市原市・八千代市・印西市
- 【神奈川県】⑬ 横浜市神奈川区・瀬谷区・川崎市高津区・宮前区・中原区・座間市・藤沢市・小田原市・秦野市
- 【山梨県】⑤ 甲府市・山梨市・韮崎市
- 【静岡県】⑧ 静岡市清水区・浜松市北区・天竜区・沼津市・富士宮市・袋井市・菊川市・湖西市
- 【岐阜県】⑳ 岐阜市・多治見市・羽島市・大垣市・瑞穂市・各務原市・美濃市・瑞浪市・羽島郡岐南町・加茂郡祝町・不破郡垂井町・可児郡御高町
- 【三重県】⑦ 津市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・三重郡川越町・多気郡大台町・度会郡南伊勢町
- 【愛知県】⑪ 名古屋市北区・中川区・港区・常滑市・弥富市・豊田市・知多市・海部郡大治町
- 【福井県】② 勝山市
- 【京都府】① 京都市西京区
- 【大阪府】④ 大阪市西成区・東大阪市・泉大津市
- 【奈良県】② 奈良市・香芝市
- 【兵庫県】⑤ 尼崎市・加東市・加古川市・川西市
- 【岡山県】① 玉野市
- 【山口県】① 岩国市
- 【高知県】② 土佐市・香南市
- 【香川県】② 高松市・観音寺市
- 【福岡県】① 福岡市
- 【熊本県】① 熊本市



《介護付有料老人ホーム》

- 【埼玉県】① さいたま市大宮区
- 【東京都】③ 練馬区・大田区・墨田区
- 【三重県】① 亀山市

《小規模多機能サービス》

- 【東京都】② 練馬区・中野区
- 【大阪府】① 大阪市西成区

《居宅介護支援サービス》

- 【埼玉県】① さいたま市西区
- 【山梨県】① 甲府市

《デイサービス》

- 【埼玉県】① さいたま市西区

《住宅型有料老人ホーム》

- 【三重県】① 亀山市

※ ○内の数字は、2012年8月31日現在の運営事業所数になります。